

関係各位

高知県病虫害防除所長

令和5年度病虫害発生予察技術情報（第4号）

普通期稲におけるトビイロウンカの発生について

7月中下旬に行った巡回調査において、県中央部、中西部、西部でトビイロウンカ(写真1)の発生が確認されました。発生が確認されたのは幼虫または長翅型の雌成虫のみで、発生面積は普通期稲で2.7ha(平年3.5ha)と平年並でしたが、早期稲では28.4ha(同3.5ha)と、平年の8.1倍となっています(表1、2)。日本植物防疫協会提供の海外飛来性害虫飛来予測システムによると、本年は6月上旬から7月上旬までに9回、当県への飛来に適した気象条件が出現しており、県下全域で本虫が発生する可能性があります(表3)。

四国地方の向こう1か月の気象予報(7月27日高松地方気象台発表)では平年と同様に晴れの日が多く、気温は平年よりも高いと予想されており、本虫の増殖に好適な条件が続くことから、発生は増加すると考えられます。本虫が高密度となると坪枯れ被害(写真2)を生じるため、県内の水稻(普通期稲)栽培地域においてはトビイロウンカの発生動向に十分注意するとともに、下記の防除対策について指導の徹底をお願いします。

記

「防除対策」

- 1) トビイロウンカはほ場内で局所的に発生するため、ほ場全体の見回りを徹底してください。また、成虫、幼虫ともに株元に寄生するため、株元を注意して観察してください。8月上旬時に、短翅型雌成虫の寄生密度が100株あたり30頭以上となった場合、9月以降に坪枯れ被害が生じるおそれがあるので防除を実施してください。
- 2) 薬剤防除にあたっては、株元まで薬剤が到達するように散布してください。また、県の「病虫害防除指針」を参照し、農薬使用基準の遵守及び周辺農作物等への飛散防止対策の徹底をお願いします。

県病虫害防除指針 <http://www.nouyaku-sys.com/nouyaku/user/haishinfile/list/kochi>



写真1 株元に寄生するトビイロウンカ
(短翅型および長翅型)



写真2 トビイロウンカによる坪枯れ被害
(2022年9月・県中央部で撮影)

表1 普通期稲におけるトビイロウンカの発生状況(7月中下旬調査)

	本年発生面積 (ha)	平年発生面積 (ha)	栽培面積 (ha)	発生 ほ場数	調査 ほ場数
東 部	0.0	0.0	372	0	12
中央部	2.7	0.5	1,226	1	18
中西部	0.0	3.0	2,277	0	30
西 部	0.0	0.0	875	0	8
県合計	2.7	3.5	4,750	1	68

表2 早期稲におけるトビイロウンカの発生状況(7月中下旬調査)

	本年発生面積 (ha)	平年発生面積 (ha)	栽培面積 (ha)	発生 ほ場数	調査 ほ場数
東 部	0.0	0.6	641	0	12
中央部	3.4	2.1	3,417	1	40
中西部	5.7	0.8	663	2	14
西 部	19.3	0.0	1,289	4	16
県合計	28.4	3.5	6,010	7	82

表3 高知県への飛来予測

月	移出日
6月	7日、19日、29日、30日
7月	1日、3日、5日、6日、7日

海外飛来性害虫 飛来予測システム(日本植物防疫協提供)による。
当県への飛来は移出日の1~2日後と予測される。

お問合せは、病害虫防除所(TEL : 088-863-1132)または環境農業推進課(TEL : 088-821-4861)まで